

令和7年度前期 学校評価アンケート（保護者）

＜挨拶について＞

- ・ 元気な挨拶
 - ・ 南小学校の子どもたちは、ちゃんと挨拶をして学年関係なく仲よく交流しているなあと感じています。
 - ・ 皆元気に話しかけてくれてうれしいです！
 - ・ 挨拶もみんなきちんとできていると思います。
 - ・ 学校に行くとすぐに「〇〇のお母さん！！」と声をかけられます。挨拶もしっかりしていてステキだと思います。
 - ・ いつも元気で、会うと手を振ってくれます。そんな子どもたちに、学校に行くたびに癒されます。
 - ・ 挨拶がとてもよいと思います。
 - ・ 南小の子どもたちは、迎えに行ったとき、顔見知りの子が手を振ってくれたり人懐っこくてかわいいなーと思います。
 - ・ 学校に行くと元気よく挨拶してくれること。
 - ・ 学校へ行くと、たくさんの元気なあいさつに迎えられます。学校の外でも、目が合うと手を振ってくれます。そのたびにうれしい気持ちになります。
- ▲ 気になる点は、挨拶が少しおろそかになっている気がする。学校へ行った際に恥ずかしいのか、来校者（保護者）に対して挨拶を遠慮しているように思った。
- ▲ 廊下を歩いている時に、子どもたちとすれ違う挨拶が年々なくなってきたように感じます。子どもたちの元気なところは満点です。

子どもたちの挨拶について、お家の方々より好意的な御意見が多数寄せられており、ありがたく思っているところです。一方で、▲の御指摘については職員も同様に感じており何か有効な手立ては無いものかと模索しているところであります。子どもたちの様子を見ていますと、登校時の正門や職員室での挨拶、委員会活動としての挨拶運動はよいのですが、▲にもあるように、普段、廊下ですれ違った時は声が出ていません。まるで“挨拶をやらなければいけない場面”と“挨拶をやらなくてもよい場面”を使い分けているかのようです。

同じ挨拶を何度も繰り返すのは日本のみの習慣だそうで、日本を訪れた外国の方々は、日本では何故こんなにも同じ挨拶を何度も繰り返すのか、と違和感を覚えるそうです。しかし、やらなくてよい挨拶は無い、と私たちは考えています。また、挨拶をされたら誰だってうれしいはずで、挨拶の後にはめる言葉が続いたり、或いは会話に変わっていったりすれば、気持ちよさは倍増すると思います。子どもたちには挨拶を交わすことのよさや大切さを少しずつ伝え、その上で、子どもたちが自ら気付き、自ら行動に移すことができるようになればと考えます。

挨拶に限ったことではありませんが「自分がされてうれしかったことは、身の回りの人たちにもやってあげる」これが基本です。お家の方々や来客（そして職員）への子どもたちの普段の挨拶がより活発になるよう、私たちも子どもたちに声を一層かけていきます。それぞれの御家庭でも「挨拶ができるとお互いに気持ちがいいよね」ということを日頃から伝えてくださるよう、お願いいいたします。

＜仲のよさについて＞

- ・ 少人数のためか、異年齢でも仲よく過ごしているようで、とてもよいと感じます。
- ・ 学年関係なく仲がよく、上の子が下の学年の子の面倒をみてくれるので素晴らしいなと思います。
- ・ 学年関係なく交流できている。
- ・ 学年関係なく仲よく過ごしていてうれしいです。
- ・ よい点は、子どもたち同士コミュニケーションをしっかり取っていて、上級生が下級生をよく見ていると思う。校内の雰囲気がよいと思う。
- ・ 異学年、仲がよいと思います。
- ・ とても仲がよく、優しい子どもたちだと思います。
- ・ 学年関係なく仲がよいことは、南小のよいところだと思う。
- ・ 地域の方々や上下関係なく仲よく交流できるところがとてもよいと思います。
- ・ 上級生、下級生みんな仲がよい感じがします。
- ・ 学校に行くと、いつも元気なあいさつをしてくれます。異学年でも仲がよくてうれしいです。
- ・ 思いやりがあり、異学年とも仲よくできているところがいいです。
- ・ 学年に関係なく、仲よく遊んでいる。
- ・ みんなとも仲がよく、優しい心をもっているなと感じます。

よい評価をたくさんいただき、ありがとうございます。学校内での学年の枠を越えた仲のよさは勿論、保育所・保育園・こども園や中学校とも関わりをもつことができるのが南学区の強みであると考えます。これからも交流の場を意図的に設け、学校教育目標にある「絆をつむぎ」の部分をさらに充実させて参ります。

＜その他＞

- ・ 1年生を迎える会や運動会、学習発表会などにおいて、各学年や縦割り班での出し物が児童主体で考えられていてよいと思う。
- ・ さつまいもの苗植えに参加した際、6年生を先頭にみんな手際よく意欲的で、とてもスムーズに終わったことが印象に残っています。一人一人のやる気があり、すばらしかったです。
- ・ 行事などの時、とてもハキハキしている。子どもたちがとても楽しく取り組んでいてこちらもうれしい。
- ・ いつも手厚い指導をありがとうございます。
- ・ まだ始まったばかりですが、今後もよろしくお願ひします。

様々な活動にて子どもたちのよい姿が見られるのは、卒業生の先輩方が脈々と受け継いでつないできたからですし、そこにお家の方々や地域の皆様の後押しがあったからであります。これからも「家庭・地域・職員が一体となってみなみっ子を伸ばしていく」の姿勢は変わりません。御協力の程どうかよろしくお願ひいたします。

＜御意見・御要望＞

▲ 暴言、落書き、投石…児童クラブで注意しても口答えしてきて、やめないことがよくある。

- ・ 放課後のなかキラでも宿題を行う時間をつくってほしいです。
- ・ 放課後のなかキラでも宿題を行う時間をつくってほしいです。一勉もノートを埋めることに必死になり、頭に入っているかがわからないので、時間・量ではなく行ってもらいたいです。

放課後児童クラブでの子どもたちの過ごし方については、職員同士お互いに連絡を取り合っております。子どもの行動には必ず何かしらの理由があるものと思いますが、相手への配慮を欠いたもの、危害を及ぼす可能性があるものについては子どもの話をよく聞いた上で、毅然とした態度で対応にあたります。それぞれの御家庭でも、お子さんと一緒に話しあっていただければ幸いです。

一人勉強については、その方法や内容をいよいよ見直す必要があるのかもしれません。まずは家庭でも机に向かう習慣を身に付けるためという意味合いからスタートし、習慣として定着してきいたら、自分の考えをもって進めることができるのが理想だと思います。何のために一人勉強があるのかを子どもたちと話し合い、できるようになりたい物事や知りたい物事に取り組むことができる一人勉強を考えていきたいと思います。

- ・ 地域との関わりが多く、勉強以外の活動も非常に身になる活動だと思うので、どんどん取り入れてほしい。
- ・ 少子化の少人数の学校なので、仲間意識等強くなるのはよいところだと思うが、他校とも定期的に交流してはどうかと思います。クラブ活動をしていない子は、なかなか交流の場もないと思うので。

大館市内では、全校児童数が100人未満、各学年一クラスずつ、複式学級を設置、という小学校が少しずつ増えてきました。地域との関わりや他校との交流の促進を市内共通の取組として考える必要があるのかもしれません。本校では近隣の保育所、保育園、中学校、支援学校との交流に取り組んでいますが、昨年度はzoom等を用いた他校との交流を行っておりました。今年度も時期や規模、内容を精査しながら検討します。

- ・ 学校に用事がある時など、どの時間帯はどこから入るか、どこに声をかけたらいいか悩みます。いつもその場行き当たりばったりなので、失礼があつたらすみません…

授業参観や親子レクとは別に学校にいらした際は、時間帯に限らず職員玄関からお入りください。その後、事務室または職員室にお声掛けをいただけすると助かります。

- すぐにはできないと思いますが、こういうアンケート類はインターネットで回答できるようにしてほしいです。集計も楽になるのでは？
- 学校以外のお便りが多く、捨てるのも大変です。希望者だけに配付するなど出来ないですか？

インターネットで回答できる形式で実施している学校に問い合わせてみたところ、回収率、回答率がなかなか上がらないのが難点とのことでした。一方、集計については時間短縮を図ることができそうです。実施するとなれば来年度以降かと思います。

学校以外から出るお便りについては、例えば、児童玄関に置くなどして希望の子どもが持ち帰るという形も可能です。しかし、業者や主催者から各学年ごとに束ねられた状態で届き、子どもたち全員に配ってほしいと言われる場合もあります。依頼の形式や内容を精選して対応します。

- 学校正門からなかキラへ向かう道を舗装していただきたいです。
- なかキラへの道が穴だらけなので、更に酷くなる前に改善していただきたいです。
- 花壇脇の道が水たまりになって、歩くのが大変そうなので、水はけよくできないでしょうか。
- なかキラ通路側の砂利道の穴を埋めてほしいです。やってもらっていますが、あまりにも大きくなりすぎる前に、対策をお願いしたいです。
- 学校の中が暗いので、明るい電気が楽しみです。
- 体育館の低い窓に、網戸がほしいです。何か所かでもいいので…。
- 夏になると、教室やバス停で、多い時には10か所以上蚊に刺されて帰ってきます。バス停で蚊取り線香をつけたり家から虫よけを持たせる等々、何か対策してくださると助かります。
- 今年もクマ対策、対応をお願いしたいです。
- 県道比内田代線の道路沿いの草をこまめに刈ってもらえるように管理業者にお願いしてほしいです。中学校前一本杉付近、高戸谷、樅崎方面からの合流する所、朝の通勤通学の時間帯は車の台数多く、見通しが悪いととても危険です。

施設・設備の修繕については、プール管理も含めて大館市教育委員会と連絡を取りながら一つずつ進めているところです。放課後児童クラブに通じる道の修理工事は夏休み中に重機を入れて行っていただきました。気が付いたときに直ちにというのは難しいかもしれません、可能な限り対応いたします。通学路を含めた歩道や車道の安全確保についても大館市教育委員会を通じて関係機関に働きかけます。お気付きのところはいつでもお知らせください。

虫刺されについては、必要であれば、それぞれの御家庭で虫除けスプレー等を持たせていただけますと助かります。勿論、刺された際の処置は保健室でも行います。クマ対策について、誘因の可能性がある物は可能な限り除去します。また、学区内での目撃情報についてはメールにて周知すると共に、駐在所と連携して子どもたちの安全確保に努めます。場合によっては引き渡しも考えられます。その時には御協力を願いいたします。

- 子どもが少なくなっているので仕方ないのですが…子ども会の会長（PTAの役員にもなる）そして学年PTAの役員、兄弟がいると、それぞれの学年での役員と、少し負担に感じています。それぞれ家庭の事情もあると思うので、父も母もというのも難しくなります。小学校以外にも兄弟がいたり仕事などなど。今後、もっと児童数が減っていくいろいろな大変なのでは？と思っています。

子どもたちの成長を支えている大きな要因にお家の方々の御協力があります。本校では年間を通じて多くのPTA活動がありますが、学校行事も含めて、お家の方々と子どもたちが一緒になって取り組むところが本校のよさと考えています。御都合を付けて参加してくださることをありがたく思っているところです。しかし、児童数の維持はなかなかに難しいところです。伴って、PTAも役職の数や必要な人数を含めて負担を減らす方向で規模を見直す必要があるかもしれません。昨年度実施したPTA活動についてのアンケートの結果を踏まえながら、現役員の方と話し合い、来年度以降の在り方を検討します。

- 時々「おうちの方から」とコメントを書く機会がありますが、保護者の感想なのか、子どもへのコメントなのか分かりづらいことがあるので、明確に書いてほしいと思います。

お家の方からのコメントを求める場合、その大半は感想を書いていただきたいということなのですが、時折、お子さんに向けての言葉をお願いすることができます。今後、お家の方々に何を書いていただきたいのかが分かるようにお伝えしていきます。

- 運動会について。雨天時のプログラムについて、遊競技など体育館などでできるものもあると思います。仕事上、その日に合わせて休みにしている父兄の方もいると思うで、できるだけ多くの競技を見ることができたらなあと思います。

今年度の運動会は様々な面で判断に迷いました。しかし、お家の方々の御都合も考慮すべきことであるのは間違ひありません。他校の様子を聞きますと、雨雲レーダーを見ながらプログラムを組み直し、外で実施したり体育館で実施したりして、可能な限り多くの競技を行ったようです。多くの実施形態を用意しつつ、天候に応じて柔軟に対応できるように努めます。

今回のアンケート実施に際し、たくさんの貴重な御意見をお寄せくださいましたこと、心より感謝申し上げます。できるところから少しづつ着手し、子どもたちもお家の方々も地域の皆様も職員も喜べるように、そして最後は学校教育目標「絆をつむぎ ともに未来へ」の具現に結び付けられればと考えます。今後ともよろしくお願ひいたします。